

# 桔想國際有限公司 会社及び実績紹介

---

2024. 03. 01



# 一 会社概要 ①MISSION



## 日本からアジア、アジアから日本へ

桔想国際有限公司は2012年に台北にて設立されました。世界がボーダレス化する中、台湾を中心に、日本とアジアをつなぐあらゆるプロジェクトや事業の立案・開発・運営に携っています。

我々のコンセプトは「Your Global Supporter Team」、これはクライアント様と同じチームとして、同じ目線で共に動き、辛い所に手が届くサービスで、次の一手への最善のサポートを心がけるという意味が込められています。

日本、台湾、香港の企業様のアパレルからWEBサービス、飲食店等様々な業種の事業サポートを行っています。

地方自治体様のプロモーション等に戦略立案、企画フェーズからお手伝いさせて頂いております。

# 会社概要 ②業務領域

## 会社概要 Company profile

会社名 桔想国際有限公司(英語表記: Oranging Inc.)

代表者 林 修民

資本金 200万元

社員数 30名

住所 台北市松山区復興北路191号8階-6

連絡先 TEL 02-2712-6073 / FAX 02-2713-4784

統一編號 53920224

過去の実績: アパレルブランドの台湾展開(店舗管理からMD、マーケティング・ブランディング等のサポート業務): 日系飲食店のPR、プロモーション: WEBサービス企業の現地法人立ち上げ: アプリゲームのコールセンター業務、Facebook運用: 地方自治体の物産品PR、イベント、商談会開催: メディア、旅行代理店のファムトリップ等の招聘サポート: 日台経営者団体のビジネスマッチング: ウェブマーケティング関連台湾市場調査: 決済サービスの比較調査: 台湾向けHP制作進行管理: ゲーム会社のライセンス許諾交渉代行: 通訳翻訳派遣: 現地でのバックオフィス業務代行: 店内POP、販促物の製作、印刷: マスメディア向けイベント、記者会見の設置: プレスリリース作成・配信代行: 越境EC運用・発送代行: インバウンドメディアの台湾プロモーション: 旅行系プラットフォームの台湾プロモーション: ゲーム会社日本窓口: バイクパーツ、自転車等の貿易サポート: ECサイトの商品データ作成: ベビー用品のEC販売その他多数

## 01 事業開発・コンサルティング

海外進出前の事前調査や視察コーディネート、会社設立時の業務一式、設立後の営業、マーケティング、バックオフィス業務あらゆる実務を総合的に支援します。現地法人をつくらない越境でのビジネス開発のご相談にも応じます。

## 02 マーケティング・PR

広報、PR代行、マーケティングコミュニケーション戦略立案、イベントセミナー、商談会等の開催から、日々の自社メディアの運用、WEBプロモーション等まであらゆるマーケティング・プロモーション分野に対応します。

## 03 貿易・現地販売・営業代行

現地での営業代行、販売代行、ECサイト運営はもちろん、輸出入の貿易関連手続きのサポート等まで請け負います。

# 会社概要 ③代表経歴



**林 修民** Syumin Lin

桔想国際有限公司  
CEO

## 代表取締役CEO(董事長):林修民(リン・シュウミン)

- 2000年 国立筑波大学社会工学部卒(日本)
- 2001年 KDDI台湾システム入社(台湾)
- 2002年 Index Corporation入社 国際事業部(日本)
- 03年 同社北京支社副社長就任(中国)  
中国初・ディズニー社のモバイルコンテンツ提供
- 2007年 同社退社
- 2007年 株式会社エフアイジェイ設立(日本)  
日台ビジネスや、コンテンツ・携帯部品輸入等コンサル事業
- 2012年 Oranging Inc.(桔想国際有限公司)設立(台湾)  
アパレルブランド“FredPerry”の輸入及び台湾での販売、PR等  
日本コンテンツビジネスのコンサルティング
- 2015年 Gamonster Inc.(遊戯怪獣)の国際事業部長就任  
主な担当タイトル:SE社 “ドラクエスーパーライト”CA社“バンドリ”  
ドリコム社“フルボッコ” アソビズム社“シロドラ” 等

現在は遊戯怪獣社のゲーム事業の日本窓口を担当するとともに、【FredPerry】【CA4LA】の2アパレルブランドを台湾で運営中。

### 【Fred Perry】

- 松菸誠品 (台北・信義地区)
- 南西誠品 (台北・中山地区)
- 新光三越台中中港 (台中)
- 台中ららぽーと (台中)
- 漢神巨蛋購物廣場 (高雄)

### 【CA4LA】

- 松菸誠品 (台北・信義地区)
- 南西誠品 (台北・中山地区)

# 一 本事業責任者 ~Profile~



**網本 友加** Yuka Amimoto

桔想国際有限公司  
運営総監COO

1996年 私立立命館大学産業社会学部卒  
1996年 株式会社京進入社 学習塾チェーン(東証スタンダード4735)  
1997年 京進GmbH(在ドイツ) 2年間のドイツ駐在。帰国子女向け教育に従事  
1999年 Index Corporation入社(モバイルコンテンツプロバイダ)  
IT(携帯電話)を使ったマーケティングやコンテンツ制作、EC事業等に携わる。WEBマーケティング・プロデューサー  
2006年 GOCCO株式会社COO  
社内で立ち上げた新規サービスを別会社化。ケータイ小説・SNS事業  
2011年 同社退社。同年台湾に移住  
2012年 桔想国際有限公司に参画  
主に地方自治体、行政団体を顧客とし、日本の食文化や伝統工芸品のPR、ビジネスマッチング事業を請け負っている他、日本発のコンテンツ・サービス等の台湾向けローカライズ等に携る。  
主なクライアント:JFOODO、青森県、秋田県、静岡県、他  
過去実績:Eureka社“Pairs“(マッチングアプリ)台湾法人設立  
ガンホー社“パズル&ドラゴン“香港マカオ台湾でのPR 等

2011年より台湾在住。2012年台湾人パートナーと共に桔想国際有限公司を台北に設立。日本の食文化や伝統工芸品のPR、販路開拓、ビジネスマッチングを主軸に、行政や日系飲食企業などの台湾向けプロジェクトをサポートしている。

JETRO JFOODO台湾フィールドマーケットター  
青森県 台湾向け食品ビジネス通年マッチング事業  
秋田県 ビジネスマッチングコーディネーター  
静岡県 ふじのくに通商エキスパート 等



## 著書(共著)

プロセス・オブ・モバイル・サクセス  
企画・発案から制作・運営・SEMまで携帯サイトを成功に導く55のポイント  
(2008年・翔泳社)

# — 主な類似事業実績（抜粋）

- 2014 社団法人アジア経営者連合会ビジネスサミット運営
- 2014 ~ Food Taipei 出展・ブース運営（行政、民間等多数）
- 2014 秋田県食品商談会 現地バイヤー招聘
- 2015 秋田食品フェア（現地レストランタイアップ）運営
- 2015 稲庭饅頭組合・台湾マスコミ向け試食イベント 運営
- 2016 ~ ITF 商談会 通訳派遣、現地代理店招聘等
- 2016 せとうち DMO 媒体翻訳、現地プロモーション
- 2017 ~ 青森県台湾ビジネスコーディネーター（通年）
- 2017 青森県産品試食イベント 運営
- 2017 某 EC サイト台湾富裕層向け試食イベント 運営
- 2017 ~ 餃子の王将（飲食店）台湾広報
- 2018 北海道あいすの家（飲食店）台湾広報・営業サポート
- 2018 板前バル（飲食店）PR サポート
- 2018 JFOODO 和牛プロモーション記者会見 媒体招聘
- 2018 日本特選品展（物産展 × 商談会）バイヤー招聘
- 2018 下北 GEO DINING プロモーション動画制作 繁体字
- 2018 ~ 秋田県ビジネスコーディネーター
- 2019 ~ JFOODO 台湾フィールドマーケター
- 2019 関係人口創出・拡大事業（横手市 × 台湾大同大学）
- 2020 ~ 静岡県通商エキスパート
- 2020 沖縄県オンライン商談会
- 2020 ~ RCG海外コーディネーター
- 2021 横手市日本酒オンラインツアー
- 2021 JETRO 日本酒オンライン商談会
- 2021 秋田犬ツーリズム DMO オンラインツアーイベント
- 2021 ~ あおもり PG 台湾ビジネスマッチング
- 2022 ~ 静岡中部広域連携事業台湾ビジネスマッチング
- 2022 山口県海外ビジネスデスク（台湾）
- 2022 ~ 全国味噌工業協同組合連合会台湾事業
- 2023 ポケットマルシェ海外進出講座（群馬県）
- 2023 ~ 中海・宍道湖・大山圏城市長会台湾セミナー（島根・鳥取）等多数



# 事業内容

## 商談会



台湾での商談会



日本（青森県）での商談会

商談だけでなく、その後の継続営業が重要と考え、アフターフォローは必ず行います。來台時の視察アテンドや個別の商談も対応可

## バイヤー招請ツアー



日本（青森県）招請ツアー

台湾の小売業や商社、飲食業等のバイヤー及びマスコミ記者等を招聘し、日本での商談や視察を行います。

## 試食会や見本市等 ～B2Bイベント～



餃子の王将OPEN記者発表会



シェフや購買担当向けのベビーホタテ試食会

B2B向けの商談会やPRイベントを目的・予算等にあわせて企画運営。イベント自体を目的とせず、本来の目的を達成するための手段と考え、丁寧に企画の設計・運営を行います。

## 各種フェアや物産展等 ～B2Cイベント～



稲庭饅頭実演・試食イベント



日本酒主義Sakelism（日本酒イベント）

B2C向けの様々なPRイベントや物産会を企画運営します。消費者・ターゲット層に合わせた企画立案を行い、商品の魅力を伝えます。

# — 実績例 [ 1 ]

2019年～

## 青森県 × ファミリーレストランでの 青森フェア

食材輸入 / MENU開発 / 物産販売 / PR全般

台湾全土に12店舗展開するロイヤルホスト（現在はロイヤルパークとして運営）にて、青森食材を使ったMENUや物販を展開しました。

コロナ禍前の2019年には知事もPRに来訪し記者会見を行いました。



# 実績例 [ 2 ]

2021年

## 静岡県 × 日本食レストランでの静岡フェア

食材調達 / MENU開発 / 物産販売 / PR全般

日本で「和食えん」等複数飲食店を展開するビーワイオーグループ台湾とタイアップし、静岡食材フェアを行いました。



期間限定の  
静岡をテーマにしたMENU



普段は物販は行わないが、  
期間中は特別に静岡物産品を販売



伊豆観光DMOとつないで  
現地で伊豆のB級グルメ「わさび丼」を披露



# 実績例 [ 3 ]

2020年

## 秋田県 × 小売店舗 × 飲食店での秋田発酵フェア

食材調達 / MENU開発 / 物産販売 / PR全般

台湾現地にあるTSUTAYA BOOKSTORE・WIREDCHAYAとタイアップし、秋田の発酵食品の魅力を伝えるフェアを行いました。



秋田の食材を使って  
現地レストランのMENU開発



キービジュアル（ポスター）



石孫本店オンラインツアー



#秋田 #蔦屋書店 #美食  
現在可以去日本!?在南港蔦屋書店吃很多日本秋田縣的美食  
吉本興業台灣住みます芸人  
「漫才ボンボン」YOUTUBE

# 実績例 [ 4 ]

2021年

## 秋田県大仙市 いぶりがっこイベント × ABCクッキングスクール

イベント・KOL手配



2021年

## 秋田県横手市 × Mr.Kanso (缶詰バーチェーン店) オンライン酒まつり

有償イベント



1人1000円の有償イベント(お土産付き)は募集数日で満員に。



横手市とMOUを結ぶ台湾・大同大学デザイン科がラベルデザインをした限定日本酒。ARアプリでラベルを読み取ると酒の紹介が閲覧できる。

# 実績例 [ 5 ]

リアル店舗や飲食店以外でも  
近年広がるECなどオンラインでの日本商品販売サポート事例

## 送你營養吃 (TV通販&ライブコマース)

2022年

### 秋田県稲庭うどん × Youtuberによるライブコマース・テレビショッピング



黃君聖Sunny營養師

@Sunnyi333 チャンネル登録者数 13.6万人 172本の動画

我是黃君聖Sunny營養師，擁有台灣營養師以及美國私人健身教練ACE-CPT...

YOUTUBEで13万人以上のフォロワーをもつ人気若手栄養士、ユーチューバーのSunnyが司会をするテレビ通販にて販売を行います。ライブコマースもテレビ放映と並行して配信。

20230116 [送你營養吃]

## ECによる販売

2022年

### JFC市集(日本食品ECサイト)でのきりたんぼの販売

2022年

### Reach Life(ECサイト)での機能性食品の販売

# 実績例 [ 6 ]

B2Bの商談サポート事例など

## アトレでの味噌試食イベント

2023年

### 商業施設での日本の味噌・食べ比べイベント



微風南山アトレ3F

消費者とバイヤー両方にアプローチするイベントを実施。

日本全国の味噌の食べ比べで

日本の味噌の幅広さをPR

## オンライン商談会・視察ツアー

2023年

### オンライン商談の実施とフォローアップ

コロナ禍以降、定番となったオンラインでの商談ですが、本年も 100件を超えるオンライン商談を行いました。

当日の商談調整、通訳はもちろん商談の前後にアドバイス等を行うことにより、成立数が年々アップしています。



2024年

### 日本の味噌製造企業訪問・商談ツアー

みその魅力、台湾のバイヤーにPR 諏訪で輸出拡大目指し工場見学など

2024年1月18日 05時05分 (1月18日 14時07分更新)



藤森社長(右)の案内でみその製造工場を見学する台湾のバイヤーら=諏訪市の竹屋で

台湾の商社の食品バイヤーら8人が17日、信州みそを製造販売する「竹屋」(諏訪市)を訪れ、工場で製造工程などを見学した。近くのラーメン店にも立ち寄り、同社製品を使ったみそラーメンを味わった。

インバウンド(訪日客)需要の回復を機にみその輸出拡大を目指す「全国味噌(みそ)工業協同組合連合会」(東京)と、台湾・香港人向け観光情報サイトを運営する「ジーリーメディアグループ」(同)が初めてバイヤーらを招いたツアーを企画した。日本を代表する発酵食品のみその製造現場や活用法を知ってもらい、台湾でのみその一般消費の喚起と企業間の流通整備を図る...

出所：中日新聞



JFOODO 海外フィールドマーケットによる  
**台湾の今がわかる！現地”食”情報レポート**  
 2023 12

今回のテーマ

**日本料理店オーナーに聞く、日本酒・和食のこれまでとこれから**

台湾の主な都市では様々な種類の日本食レストランをみることができます。筆者の台湾の友人老若男女に日本食が好きか、またその理由を聞いてみたところ、全員が「好き」と答え、理由としては「美味しさと品質の高さ」「新鮮な食材」「健康的なイメージがある」「アニメ等エンターテインメント、日本文化の一つとして」「地理的な近さから好きが似ているから」等様々な回答を得ました。

しかし一口に日本食といっても寿司、ラーメン、てんぷら、鉄板焼き等様々な料理があります。最近ではなぜか長らく定着しなかった「ハンバーグ」についても有名店等が上陸しメディアでも話題になるなど、流行の兆しをみせています。食に関心の高い台湾では、食生活の内容、流行や進化が早いように感じます。和食全般や日本酒についても、この近年でも変化がありました。

今回は、人気の日本料理店オーナーに台湾における和食や日本酒の近年の移り変わりや人気の秘訣、これからの台湾での食市場の予測などについて、インタビューしてみました。



出所：筆者撮影

【コラム1】無菜單寿司割烹 ～OMAKASEスタイルの台頭～

台湾で現在流行っており、もはやひとつの人気分野として定着した和食の提供スタイルとして、「寿司割烹」がある。寿司だけでなく、煮物や揚げ物、焼き物等の様々な日本料理や、メのデザート等がコース中に提供される。飲み物以外、メニュー（中国語で「菜單」）はなく、基本的にコースの内容はお店のおまかせなので、「無菜單寿司割烹」とも言われる。

一人の大将がカウンターを中心とした1-3席程度の広さ、というスタイルが一般的だ。寿司割烹以外も天ぷらや、肉割烹等様々な高級和食店が同様の「無菜單」で料理を提供しており、このような和食のコースをまとめてOMAKASEと表記されることもある。

無菜單寿司割烹スタイルは店が増え競争が激しくなり高級化とカジュアル化の2層化の傾向がみられる



寿司のネタが選べるOMAKASE寿司割烹。出所：筆者撮影

カジュアル派では、昨今コースの寿司の部分は自分で選べるスタイルのお店もよくみられる。

台湾のOMAKASEが今後どんな進化をみせるか、目が離せない。

JFOODO 海外フィールドマーケットによる  
**台湾の今がわかる！現地”食”情報レポート**  
 2023 9

今回のテーマ

**「日本」を届ける小売店舗 関係者インタビュー**

台湾は世界でも有数の親日国であると言われており、訪日数や日本産品の消費金額も諸外国に比較して高いといえます。特に日本の「食」については高い興味関心を持っています。

その台湾の人々が、普段台湾で日本の食品を購入するのは一体どんな場所なのか、どうタイミング、動機で購入するのか、どんなものが人気があるのか、などの台湾消費者の動向を、現地の日本食品を扱う複数の小売店を通して本レポートで考察します。

今回は、同じ日本食品を扱う小売店舗でも、日常の食卓を彩る食品を扱う台湾系高級スーパー、日本物産展が現地で定評のある老舗日本百貨店、書籍販売に留まらず生活の総合提案を行う日系書店、と趣の異なる3企業で働く在住日本人の方々へインタビューすることによって、台湾だけでなく日本との比較の視点も交えつつ、お伝えしていく特集となっています。



出所：筆者撮影

台湾政府が発表する統計情報

台湾マーケットの小売や飲食店の動向・推移を知るには、經濟部統計処が毎月発表しているこちらの統計情報が便利である。内容はもちろん中国語での記載ではあるが、ビジュアル的にもわかりやすくまとめられている。台湾市場の現状を知りたい方は、翻訳ソフト等を活用し、ぜひ参考にしていただきたい。

<https://www.moea.gov.tw/Mns/dos/home/Home.aspx>



出所：經濟部統計處

【コラム1】買一送一とは？～CP値を重視する台湾の販促手法～

台湾に来訪し、現地のスーパーや百貨店等の小売店で買い物をする経験のある方は、現地で「買一送一」（中国語で「買一送一」と発音）という表示を見られた方も多いだろう。これは「買一送一」が「買二送一」の意味で、「買二送一」は「買二送一」から（ひとつ無料で）等というニュアンスが非常に多量に用いられている販促手法だ。小売店のみならず、例えばカフェでも「●月●日は一杯コーヒーを頼むともう一杯ついてくる」といった、一人で訪れた場合には逆になってしまうような企画も多い。

台湾では「CP値」（コストパフォーマンス）が高い、低いという会話がよく聞かれるが、このCP値を重視する傾向が強く、例えばこの買一送一では、本当にもう一つ必要か、そのおまけが自身の場合も欲しいものであるか、ということよりも、「お得であるという印象が購買の決定打となる場合も多い。デザイン等も勿論重要だが、台湾向けの商品開発には「お得感」の演出は極めて重要と言えるだろう。



フランクランドPOP 出所：甲文書HP

JFOODO 海外フィールドマーケットによる  
**台湾の今がわかる！現地”食”情報レポート**  
 2023 2

今回のテーマ

**食に対する課題を解決するテクノロジーIN台湾**

近年、気候変動や食料不足、人材不足、環境問題等が世界的に懸念され、食や農業の在り方を早急にアップデートする必要性が求められている中、「フードテック」「アグリテック」という分野が注目を集めています。

食料の生産・加工から流通・消費まで、サプライチェーン上で発生する課題解決のためのテクノロジーを提供するこれらの分野。米国のフードテックイベント「スマートキッチン・サミット2017」では食関連の新技术に関する市場は2025年には700兆円規模に達すると予測も飛び出していました。

グローバルに進む食分野の新革命。台湾の状況を関連企業や研究機関等へインタビューを行いました。



出所：photoAC

日本と台湾、互いに影響しあう、フードテクノロジー業界

日本と台湾はお互いに技術や情報の交流が活発に行われている。交流は大企業間のみにとまらず、スタートアップ、ベンチャーや中小企業等幅広い。また行政にも日台のビジネス交流を促進する機関が多く存在する。

コロナ禍で来客が激しい昨年3月には台湾の中小企業を支援する經濟部中小企業処から委託を受けたTJSCP（日台の中小企業のビジネス交流を促進機関）、日本の独立行政法人中小企業基盤整備機構（SMRJ）が日本・フードテクノロジーCEO商談会を開催。台湾、日本から合計34社が参加し商談が行われた。TJSCPでは今後も同様のテーマでの商談会を計画しており、新たなビジネスチャンスをサポートする体制を継続している。

ニュースより引用<https://www.tjscp.org.tw/jp/highlight.aspx?id=49>



2021年に行われた日台商談会の様子 出所：日台中小企業合作平台(TJSCP)公式HP

台湾の食品市場に関するレポート作成や、調査等も行っています。

JFOODOで行う食レポートはオープン情報となっております閲覧が可能です。  
[https://www.jetro.go.jp/jfoodo/archive/fm\\_report.html](https://www.jetro.go.jp/jfoodo/archive/fm_report.html)



# 実績例 [ 9 ] ・ 営業体制 ②

## EDMの配信

バイヤーへのPR手段の一つとして、不定期に主に飲食・食品業界の関係者向けに日本の食品や料理に関するEDMを自社より配信。台湾進出を希望する企業からの商品サンプル配布等もこちらで行う。実際の商談や発注等にも繋がっている。現在配信数は約700通。



## 自社FBページでの告知・試食勉強会の実施

バイヤーへのアプローチとして台湾で利用率の高い Facebook も活用している。

また、海外ではサンプルの入手量が限られている為、できるだけ多くのバイヤーへ試食を可能とするために、自社にバイヤー等を招き、定期的な試食会や勉強会も行っている。

